

## 国際社会学部

# 竹田 恵子

Keiko TAKEDA

現代世界論コース

ジェンダー／セクシュアリティ研究



## ジェンダー／セクシュアリティ研究、社会学

ジェンダー／セクシュアリティ研究は学際的な分野ではありますが、私は社会学を基礎としています。人々の相互作用や、人々を取り囲む大きな構造によって人の行為や行動がどのように方向付けられ、また人々がそのような構造に対してどのように意識的・無意識的に働きかけるのか、といったダイナミクスが主な対象となります。

## 研究紹介

わたしの専門はジェンダー／セクシュアリティ研究です。博士論文では、アイデンティティやコミュニティの生成における芸術の機能について、探求しました。主な研究テーマは3つあり、ひとつは第三波以降のフェミニズムの研究成果と社会学理論の接合について探求することです。ふたつめはジェンダー／セクシュアリティ、社会学の観点から女性を含むマイノリティのポピュラーカルチャーにおける表象について分析することです。さらに、芸術分野におけるジェンダー／セクシュアリティ教育の実態について、質的および量的社会調査の手法を用いて明らかにしていきます。



## 担当授業

- 日常生活とつながるジェンダー I / II
- ジェンダー論入門
- 基礎演習
- ジェンダー論演習
- 卒業研究演習
- 現代世界論研究

## 関連する分野

- クィア理論
- カルチュラル・スタディーズ
- 男性性研究
- メディア研究

## 出版物

- 『生きられる〈アート〉—パフォーマンス・アート《S/N》とアイデンティティ』（2020年、単著）
- 『ガールズ・メディア・スタディーズ』（2021年、共著）
- 『未来とアートの倫理のために』（2021年、共著）
- 『出来事から学ぶカルチュラル・スタディーズ』（2017年、共著）
- 『r』（2017年、共著）
- 『芸術分野におけるハラスメント防止ガイドライン』（2021年、共著）

# 国際社会学部

## ジェンダー論ゼミ



### どのようなゼミか

ジェンダーやセクシュアリティは、わたしたちの日常生活に大いに関係しています。日常生活で起きること、またメディアで話題になったことなど、アンテナを張りながら生活してください。ゼミでは、このように日常生活で起こることに関して、一見わかりにくい「構造」や「制度」を解き明かしていきます。まずは基礎文献および最新の研究成果が発表されている文献を丹念に購読していきます。次にみなさんの関心のあるテーマを発表してもらい、ディスカッションをしながら、研究テーマを発展させます。

### どのような点が魅力か

ジェンダー論を学ぶことで、割り当てられた性別によって決められた「男ならば～すべき」「女ならば～すべき」といったような宿命的なルール（規範）を批判的に捉え直すことができます。また、セクシュアリティに関連して性的マイノリティの権利獲得、結婚制度やリプロダクティブヘルス/ライツ、性暴力について等、広く学ぶことを目指します。日常生活における「もやもや」があれば、それを言語化し、私たちを取り巻く制度や構造についてさらに深く学ぶことができます。

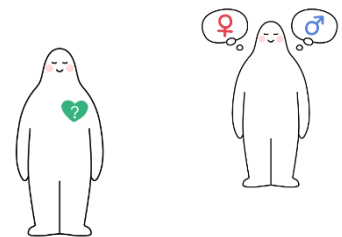
### 研究方法

研究方法は第一に文献・資料調査とします。新聞・雑誌記事から、ある概念がどのように語られてきたかという「言説分析」の手法を用いることもあります。テーマによっては慎重に手続きや研究倫理を指導したうえでインタビューを行うこともあります。

副次的にコミックスや映画、アニメ等の表象分析を行うこともあります。その際にはそれらの作品が創作された「社会的文脈」を慎重に調査します。

### 卒論で扱っている事象

- アイドル表象と性的消費
- 選択的夫婦別姓
- クィアバイティング批判と性的少数者の表象
- 売春防止法
- 緊急避妊薬
- 選択的に子供を持たないことについて
- 性暴力におけるグルーミング



### お薦めの本・作品

#### 【書籍】

- 江原由美子『増補 女性解放という思想』（ちくま学芸文庫、2021年）
- 上野千鶴子『生き延びるための思想 新版』（岩波現代文庫、2012年）

#### 【作品】

- 《S/N》（ダムタイプ、1994年）